

## 事業計画書目次

[教育委員会事務局]

17款6項3目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和6年度		令和5年度		増△減(6-5)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	中央図書館運営費	1,014,080	996,898	1,273,852	1,258,499	△ 259,772	△ 261,601	○
3	地域図書館運営費	209,553	205,775	201,575	199,425	7,978	6,350	
4	調査資料事業費	386,879	386,414	374,895	374,419	11,984	11,995	
6	中央図書館利用者サービス事業費	139,801	139,794	125,715	125,708	14,086	14,086	○
7	障害者サービス事業費	9,452	4,715	8,958	4,874	494	△ 159	○
9	地域図書館・図書取次業務委託事業費	164,388	164,388	140,333	140,333	24,055	24,055	○
10	市立図書館指定管理事業費	191,009	190,970	188,522	188,483	2,487	2,487	
11	学校連携・地域連携事業費	1,542	1,542	1,342	1,342	200	200	○
12	図書館ビジョン推進費	36,000	36,000	45,000	45,000	△ 9,000	△ 9,000	○
	計	2,152,704	2,126,496	2,360,192	2,338,083	△ 207,488	△ 211,587	

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	企画運営課	新規拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	中央図書館運営費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,014,080	0	0	17,182	0	996,898
令和5年度	1,273,852	0	0	15,353	0	1,258,499
増▲減	▲259,772	0	0	1,829	0	▲261,601

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	758,585	956,826
	市債+一般財源	740,308	938,997
決算	事業費	730,650	900,660
	市債+一般財源	716,895	885,845

令和7年度	令和8年度	令和9年度
1,448,017	1,448,437	848,017
1,431,095	1,431,295	831,095

事業概要 (アクティビティ)	(1)会計年度任用職員経費(図書館運営を補助する会計年度任用職員を雇用) (2)施設管理経費(設備保守委託や施設修繕等、中央図書館の施設管理。ESCOサービス期間(R3~R15)) (3)図書館利用等経費(図書館年報や広報誌の発行。広告事業の実施) (4)全館に係る経費(図書資料等運搬業務の委託。関係機関との調整) (5)その他の運営費(その他中央図書館の運営に係る事務) (6)第4次図書館情報システム運用経費(市立図書館全館のオンラインシステムの運用) (7)中央図書館30周年記念事業(令和6年に迎える中央図書館開館30周年を記念した事業を実施) (8)野毛山地区の魅力高める図書館づくり事業(中央図書館に「のげやま子ども図書館」を整備)							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
18館入館者数	単位	目標	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000
	人	実績	6,630,539	6,396,145	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
貸出冊数(中央図書館及び地域図書館18館、取次所、電子書籍、広域利用の合計)	単位	目標	11,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
	冊	実績	11,600,457	12,198,930	/	/	/	/
事業目的	中央図書館は図書館全体の運営管理や事業の企画立案及び総合調整を行うとともに、図書館情報システムの運用や図書館資料の物流などの拠点としての役割を果たしている。中央図書館の運営により、市立図書館18館が一体となった図書館機能を維持できる。							
背景・課題	当事業費は中央図書館の運営全般を担っているが、中央図書館は市立図書館の一つであるとともに、市内18図書館全体のサービスを支える機能も含まれる。そのため、市立図書館すべてに対してこの事業の効果が影響する。図書館は誰もが利用しやすい場所であり、中期計画に示す「子育て世代をはじめとした全ての市民が居心地よく過ごせる場」として、図書館利用の増加を実現するための効果的な運営方法の検討が課題となる。							
根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例							
根拠・データ等	<b>【横浜市立図書館年報】</b> ・18館入館者数：2年度5,104,852人、3年度6,630,539人、4年度6,396,145人 ・登録者数：2年度883,160人、3年度879,547人、4年度868,558人 ・貸出者数：2年度3,189,808人、3年度4,023,174人、4年度3,820,915人 ・貸出冊数：2年度8,888,766冊、3年度11,600,457冊、4年度12,198,930冊 ・予約受付冊数：2年度3,026,572冊、3年度3,467,033冊、4年度3,459,249冊							
事業スケジュール	平成6年4月：中央図書館開館、図書館情報システム全面稼働 平成12年4月：市立図書館全館で祝日等年間30日の開館日拡大、中央図書館の火～金曜日の開館時間を午後8時30分までに延長 平成13年12月：市立図書館全館で月曜日開館開始 平成15年1月：図書館情報システムを更新 平成25年1月：図書館情報システムを更新 令和6年1月：図書館情報システムを更新							
事業開始年度	平成2年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	第3次図書館情報システム運用経費	0	159,726	▲159,726
2	会計年度任用職員経費	230,756	223,588	7,168	報酬改定及び勤勉手当支給による増
3	施設管理経費	233,859	227,821	6,038	委託費の増

細事業(事業内訳)	4	図書館利用等経費(旧広報経費)	4,878	3,403	1,475	子ども向け事業の新規実施に伴う増及び資材単価高騰による増
	5	全館に係る経費	83,163	57,193	25,970	ESCO事業開始による増
	6	その他の運営費	948	838	110	複写サービスの単価増
	7	第4次図書館情報システム運用経費	308,917	601,283	▲292,366	システム構築完了による減
	8	中央図書館30周年記念事業	1,217	0	1,217	新規事業実施による増
	9	野毛山地区の魅力を高める図書館づくり事業	150,342	0	150,342	新規事業実施による増
	細事業合計		1,014,080	1,273,852	▲259,772	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	小田川 紀可	久保寺 信行	阿部 未奈子

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	企画運営課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	2					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	地域図書館運営費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	209,553	0	0	3,778	0	205,775
令和5年度	201,575	0	0	2,150	0	199,425
増▲減	7,978	0	0	1,628	0	6,350

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	163,758	180,165	209,553	209,553	209,553
	市債+一般財源	161,445	177,812	205,775	205,775	205,775
決算	事業費	180,141	217,610			
	市債+一般財源	177,994	213,808			

事業概要 (アクティビティ)	①購入寄贈等資料の選定・収集・配架・整理、②市内在住、在勤、在学者への図書館資料の貸出 ③館内における図書館資料の閲覧、④図書館資料の周知及び読書、調査研究、資料等の相談 ⑤図書館の施設管理、⑥読書活動・地域の情報拠点として、企画展示や講座・講演会等の開催							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
入館者数 (山内除く)	単位	目標	5,531,000	5,531,000	5,531,000	5,531,000	5,531,000	5,531,000
	人	実績	5,351,165	5,125,491	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
貸出冊数 (山内除く)	単位	目標	6,958,000	8,121,000	8,121,000	8,121,000	8,121,000	8,121,000
	冊	実績	7,661,844	7,818,880	/	/	/	/
事業目的	図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究等に資することを目的とする。							
背景・課題	当事業費は地域図書館のうち指定管理者制度導入館である山内図書館を除く16館の運営全般を担っている。図書館は誰もが利用しやすい場所であり、中期計画に示す「子育て世代をはじめとした全ての市民が居心地よく過ごせる場」として、図書館利用の増加を実現するための効果的な運営方法の検討が課題となる。							
根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例							
根拠・データ等	【横浜市立図書館年報 (山内除く)】 ・入館者数：2年度4,115,013人、3年度5,351,165人、4年度5,125,491人 ・登録者数：2年度669,951人、3年度667,463人、4年度657,518人 ・貸出利用者数：2年度2,074,260人、3年度2,599,020人、4年度2,369,027人 ・貸出冊数：2年度5,948,819冊、3年度7,661,844冊、4年度7,818,880冊 ・予約受付冊数：2年度215,011冊、3年度233,330冊、4年度223,140冊							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和49年度 昭和49年10月6日磯子図書館開館、現地域図書館数17館</li> <li>・平成22年度 山内図書館に指定管理者制度を導入</li> <li>・平成23年度 都筑図書館、戸塚図書館の2館に司書補助業務(窓口業務等)を対象に外部委託を導入</li> <li>・令和4年度 港北図書館に司書補助業務(窓口業務等)を対象に外部委託を導入</li> </ul>							
事業開始年度	昭和49年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	地域図書館運営費		209,553	201,575	7,978
	細事業合計		209,553	201,575	7,978	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 小田川 紀可	係長 久保寺 信行	坂間 玲奈
------------------------------------	--------------	--------------	-------

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	調査資料課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3	
歳出予算科目	一般会計	17 款	6 項	3 目	政策番号	6 施策番号	4
事業名称	調査資料事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	386,879	0	0	465	0	386,414
令和5年度	374,895	0	0	476	0	374,419
増▲減	11,984	0	0	▲11	0	11,995

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	346,814	374,322	374,895	374,895	374,895
	市債+一般財源	346,329	373,837	374,430	374,430	374,430
決算	事業費	340,794	366,680			
	市債+一般財源	338,280	364,350			

**事業概要 (アクティビティ)**  
第二次横浜市民読書活動推進計画に基づき、市民の読書活動の推進のため魅力ある図書の充実に取り組みます。利用者の課題解決に資する専門図書に加え、貸出冊数増、図書取次サービス増設による利用増に対応するため、新刊書の充実を図ります。また、令和3年3月から開始した電子書籍サービスもさらに充実していきます。

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
図書館資料、電子書籍が充実した図書館(図書購入冊数・電子書籍コンテンツ提供点数)	単位	目標	119,736冊・5,000点	130,000冊・10,000点	130,000冊・16,000点	130,000冊・17,000点	130,000冊・18,000点		
	冊・点	実績	124,077冊・5,366点	130,036冊・10,185点					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
貸出冊数(中央図書館及び地域図書館18館、取次所、電子書籍、広域利用の合計)	単位	目標	11,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
	冊	実績	11,600,457	12,198,930					

**事業目的**  
①市立図書館の機能・役割として資料・情報の提供を通して市民生活を支援することが挙げられます。資料の提供については全館で約400万冊の多様性のある資料を所蔵し、市民の学習や課題解決に役立てられています。また令和3年3月から電子書籍サービスも提供を開始し、市民の知的ニーズに対してのサービスの充実に努めています。情報の提供については、豊富な蔵書を活かし、利用者の必要とする資料・情報等の提供、関連機関の照会、文献複写の取次など情報入手の支援を行うほか、本市区局を支援する庁内情報拠点化事業を展開し、区局支援を通じて間接的な市民サービスを提供しています。あわせて、オンラインデータベースの市民利用提供も行い、市民の調査研究の支援を充実させています。  
②毎年新たに刊行される図書、質の高い資料等を選定・収集することにより市民の多様な情報要求に応えるとともに、横浜市の情報拠点として広く市民に活用され、ビジネスや医療などさまざまな課題解決を支援する場であるために必要です。多様な市民の情報要求に応えられる質の高い蔵書構成により、多くの市民の方が資料を利用しているほか、レファレンス業務も多くの市民が利用しています。また、ホームページで公開しているデジタル化資料は、市民・企業・庁内事業等で活用されています。

**背景・課題**  
課題としては、新たな資料・情報の提供のため、さらなる蔵書の充実が必要であること。資料の新規購入及び寄贈の受入の進捗とともに、取得した資料をより長期に、大切に市民利用に供するための設備が現状では受入量に追いついていません。またオンラインデータベースやインターネットの閲覧に使用するPC機材の更新及びセキュリティの向上も必要となっています。

**根拠法令・方針決裁等**  
社会教育法、図書館法、横浜国立図書館条例・同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例  
視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律、子どもの読書活動の推進に関する法律

**根拠・データ等**  
【横浜市の図書館2023(横浜国立図書館年報)】  
・登録者数 <実績推移> 2年度 883,160人、 3年度 879,547人、 4年度 868,558人  
・貸出者数 <実績推移> 2年度 約3,190千人、 3年度 約4,024千人、 4年度 約3,821千人  
・貸出冊数 <実績推移> 2年度 約8,889千冊、 3年度 約11,600千冊、 4年度 約12,199千冊  
・寄贈冊数 <実績推移> 2年度 46,325冊、 3年度 48,059冊、 4年度 32,809冊  
・除籍冊数 <実績推移> 2年度 167,441冊、 3年度 160,204冊、 4年度 139,307冊  
・再活用冊数 <実績推移> 2年度 3,750冊、 3年度 4,290冊、 4年度 3,404冊  
・雑誌スポンサー数 <実績推移> 2年度 9件、 3年度 9件、 4年度 11件  
・電子書籍サービス(令和3年3月24日サービス開始) 貸出点数 <実績推移> 2年度2,498点、3年度59,173点、4年度93,594点

**事業スケジュール**  
・平成5年度：事業開始  
・平成5年度：寄贈申出図書の受入れ開始  
・平成9年度：図書館ホームページ開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始  
・平成16年度：デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」をホームページに公開  
・令和2年度：電子書籍サービス提供開始

**事業開始年度**  
平成5年

(単位：千円)

細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
細事業(事業内訳)	1 図書購入	231,289	230,375	914	ふるさと納税の増、ブックデータ(書誌データ)購入費を使用料及び賃借料に移管
	2 定期刊行物購入	43,514	43,514	0	

細事業(事業内訳)	3	資料受入業務	53,517	53,517	0	
	4	電子書籍サービス	26,698	26,698	0	
	5	オンラインデータベース	8,574	8,574	0	
	6	図書館資料のデジタル化	5,155	5,042	113	【その他経費】貴重資料マイクロフィルム制作を移管
	7	その他経費	18,132	7,175	10,957	中央図書館・地域図書館利用者用端末更新による増
	細事業合計			386,879	374,895	11,984

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	石合 智晃	鵜木 隆之	樋口 縁子

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	サービス課	新規拡充	□ 新規 ■ 拡充	事業評価書番号	4					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	中央図書館利用者サービス事業費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	139,801	0	0	7	0	139,794
令和5年度	125,715	0	0	7	0	125,708
増▲減	14,086	0	0	0	0	14,086

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	122,919	124,919	139,801	139,801	139,801
	市債+一般財源	122,912	124,912	139,794	139,794	139,794
決算	事業費	118,301	124,764			
	市債+一般財源	118,296	124,756			

事業概要 (アクティビティ)	中央図書館1階及び地下1階における窓口業務、予約対応、資料案内、閲覧業務、移動図書館の運営等を行い、市民の読書活動を支援します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
中央図書館入館者数	単位	目標	944,000	944,000	944,000	944,000	944,000	944,000
	人	実績	827,728	830,402	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
貸出冊数(中央図書館及び地域図書館18館、取次所、電子書籍、広域利用の合計)	単位	目標	11,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
	冊	実績	11,600,457	12,198,930	/	/	/	/
事業目的	中央図書館及び移動図書館における利用者登録、閲覧、貸出・返却、予約などの定型的司書補助業務を一元的に委託することにより効率的な運営を行うとともに、ヘルプデスク及び代表電話における総合案内及び資料検索、学校・地域との連携など、図書館の専門的知識を要する業務に司書が従事することにより、市民の読書活動に対し質の高いサービスを提供します。また、移動図書館車の運行により、地域における市民の読書活動を支援しています。							
背景・課題	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づき、乳幼児期から高齢期まで市民一人ひとりが読書に親しみ、楽しむことができる環境を整備するため、読書活動を推進する取り組みが求められています。市立図書館は、市民の読書活動と、市民の生活・福祉・経済・医療・学び等の課題解決を支える知の拠点であり、豊かな市民生活を実現するため、機能の充実に取り組む必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例							
根拠・データ等	<b>【横浜市立図書館年報】</b> ①中央図書館1日平均入館者数 2年度2,082.0人、3年度2,406.2人、4年度2,414.0人 ②中央図書館貸出冊数(年間) 2年度659,556冊、3年度850,005冊、4年度914,895冊 ③移動図書館貸出冊数(年間) 2年度98,347冊、3年度125,319冊、4年度139,920冊 ④予約受付総冊数(年間) 2年度3,026,572冊、3年度3,467,033冊、4年度3,459,249冊 <b>【利用者サービス事業の近年の状況】</b> 令和4年1月 日吉図書取次所開所 4月 貸出冊数の変更(6冊から10冊に増加) 郵送による新規登録・登録更新サービス開始 移動図書館車両2台体制による運行開始(定期巡回場所:21か所→29か所に拡充) 令和5年1月 移動図書館定期巡回場所30か所に拡充							
事業スケジュール	1 司書補助業務委託長期継続契約 期間:令和4年4月1日～令和7年3月31日 2 移動図書館はまかぜ1号車両更新 令和6年度 製作 令和7年度 使用開始							
事業開始年度	昭和45年度、平成6年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	中央図書館利用者サービス事業費	139,801	125,715	14,086	司書補助業務委託オンライン登録等業務の増、スライド増
細事業合計		139,801	125,715	14,086		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	小澤 美奈子	清水 順	佐竹 聡子

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	サービス課	新規拡充	□ 新規 ■ 拡充	事業評価書番号	5					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	障害者サービス事業費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	9,452	3,260	1,477	0	0	4,715
令和5年度	8,958	3,284	800	0	0	4,874
増▲減	494	▲24	677	0	0	▲159

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	6,344	8,014	9,452	9,452	9,452
	市債＋一般財源	5,279	5,314	4,715	4,715	4,715
決算	事業費	6,376	7,917			
	市債＋一般財源	5,313	5,430			

事業概要 (アクティビティ)	障害者支援事業 1 視覚障害者その他視覚による表現の認識が困難な者(以下「視覚障害者等」という。)への次の4事業 ①音訳・テキスト化図書製作 ②音訳・テキスト化図書のサビエ図書館(運営：特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会)からの取り寄せ及び貸出 ③活字図書資料の朗読サービス ④音訳・テキスト化ボランティアの人材育成及び活動支援 2 心身障害者等を対象とする来館困難障害者への図書配送事業 ※本事業は令和元年度予算まで「中央図書館利用者サービス事業費」に含まれていた。								
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
録音図書(デジタル)蔵書数	単位	目標	1,516	1,556	1,596	1,636	1,676	1,716	1,756
	冊	実績	1,516	1,566	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
貸出冊数(中央図書館及び地域図書館18館、取次所、電子書籍、広域利用の合計)	単位	目標	11,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
	冊	実績	11,600,457	12,198,930	/	/	/	/	/
事業目的	読書バリアフリー法等の関連法令に基づき、図書館利用に障害のある者のため、利用しやすい資料やサービスの提供等による情報保障の一層の充実と、読書活動の推進を図ります。								
背景・課題	令和元年度に施行された「読書バリアフリー法」においては、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるよう、さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることが求められています。誰もが読書に親しみ読書の楽しさを楽しむことができるよう、また求めている情報にアクセスできるよう、サービスを実施していく必要があります。								
根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、郵便法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)								
根拠・データ等	①市内の障害者手帳(視覚障害)取得者数【横浜市統計書第14章社会福祉から】 <推移>2年度6,443人、3年度6,483人、4年度6,543人 ②視覚障害者等を対象とする視覚障害者等支援事業(登録者数)【以下、「横浜市立図書館年報」から】 <推移>2年度669人、3年度670人、4年度678人 ③来館困難な心身障害者への図書配送事業(登録者数) <推移>2年度591人、3年度634人、4年度693人								
事業スケジュール	昭和54年 戸塚図書館で障害者支援事業開始 平成6年 中央図書館開館により、サービス課に障害者支援事業担当を配置 令和元年6月 読書バリアフリー法施行 令和4年4月 改正横浜市立図書館規則施行 ①同規則において障害者支援事業について定める。 ②読書バリアフリー法に基づき、サービス対象を拡大。 (新たに、ディスレクシア等の発達障害、肢体不自由等の視覚障害者手帳取得者以外の読書に困難がある市民を対象)								
事業開始年度	平成6年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	障害者サービス事業費		9,452	8,958	494



	細事業合計	9,452	8,958	494	
--	-------	-------	-------	-----	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	小澤 美奈子	清水 順	矢吹 夢華

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	企画運営課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	6					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	地域図書館・図書取次業務委託事業費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	164,388	0	0	0	0	164,388
令和5年度	140,333	0	0	0	0	140,333
増▲減	24,055	0	0	0	0	24,055

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	110,462	120,949
	市債＋一般財源	90,462	120,949
決算	事業費	107,928	113,222
	市債＋一般財源	87,930	113,222

令和7年度	令和8年度	令和9年度
160,330	160,330	160,330
160,330	160,330	160,330

事業概要 (アクティビティ)	①地域図書館司書補助業務委託：図書館運営を効率化し、司書がその専門性を生かして市民の調査研究活動の支援や読書活動の推進を行う時間を確保するため、窓口業務（貸出、返却・返本、書架整理等）と物流業務（予約本の搜索、荷造り、仕分け等）等の司書補助業務を業務委託します。 ②図書取次業務委託：効果・効率的に市民に身近で便利な図書館サービスを提供するために、図書館以外の場所で予約した本の貸出・返却ができる図書取次サービスを業務委託により実施します。図書取次所新規開設（1か所）の検討・準備を行います。							
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
合計貸出利用者数 (図書館/図書取次)	単位	目標	78.2万/16.1万	82.4万/20万	74万/23万	74万/24.5万	74万/31.5万	74万/33.5万	74万/35.5万
	人	実績	82.3万/16.8万	74.2万/22.1万					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
合計貸出冊数 (図書館/図書取次)	単位	目標	216万/26万	250万/35.4万	237万/41.6万	237万/44.6万	237万/59万	237万/62万	237万/65万
	冊	実績	236万/27.5万	237万/39.7万					

事業目的	図書館は、読書により生活を豊かにするだけでなく、市民の生活・社会の基盤である福祉・経済・医療・学び等を支えるインフラでもあります。また、正しい情報を得る手段としての側面も担います。窓口・物流業務等の定型的な司書補助業務を委託することで、司書は専門的な業務に従事し、多岐にわたる豊富な資料を活用して、幅広く市民生活の課題解決を支援します。  第二次横浜市読書活動推進計画（R1.12月策定）の重点項目3「読書活動の拠点の強化と連携」で掲げた、身近で便利な図書館サービスの充実に向けた図書取次サービス事業の拡充のため、令和3年度に日吉図書取次所を開設しました。政令指定都市の中でも低い水準である、横浜市の人口比での図書館数・取次拠点を含むサービス拠点数を維持し、身近で便利な図書館サービスを提供します。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

背景・課題	利用の多い地域図書館では、予約図書の物流処理や貸出上限冊数増加による貸出・返却等の業務量増加への対応を会計年度任用職員だけでは担いきれず、司書職員の対応が必要な状況です。また、会計年度任用職員の指導なども司書の業務負担となっています。そのため、レファレンスや学校連携事業等司書の専門性を生かした市民への図書館サービスの充実や、区役所や区内の読書関連施設と連携して読書活動推進事業実施のための業務時間の確保が難しい状況です。本事業により図書館運営を効率化することで、市民への図書館サービスの充実や、市民の読書活動の推進を図ります。令和3年度に開設した日吉図書取次所には、図書取次機能に加え、図書の企画展示や小規模イベント等、区との連携事業等ができる企画スペースがあります。港北図書館に地域図書館等司書補助業務委託を導入することで、効率的・効果的に港北図書館の司書が外向いて、企画スペースを活用しながら読書活動推進事業を実施できるようになりました。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例
------------	----------------------------------------------

根拠・データ等	①全館予約受付冊数 H22：281万件 R1：310万件 R2：303万件 R3：347万件 R4：346万件 感染症拡大以降、あらかじめ借りる本を予約をして滞在時間を短くしたいという利用が増加しています。 ②横浜市の人口比での図書館数・取次拠点を含むサービス拠点数は、政令指定都市の中でも低い水準です。 ③R4年度レファレンス件数 都筑：24,667件 戸塚：15,163件 港北：11,744件 地域図書館14館平均：10,404件 ※根拠・データ等：横浜市立図書館年報、横浜市主要統計データ、日本の図書館（日本図書館協会刊行の統計資料） ※根拠・データと事業指標において、R2年度は感染症拡大防止のためのサービス限定や臨時休館（予約受付停止）の影響による減少あり。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業スケジュール	平成17年12月：二俣川駅・東戸塚駅行政サービスコーナーでの図書取次サービス開始 平成22年4月：青葉区内の図書取次搬送業務を山内図書館指定管理者の対象業務とした 平成23年4月：都筑・戸塚図書館、二俣川駅・東戸塚駅行政サービスコーナーでの司書補助業務委託開始 平成27年4月：区局連携事業見直し。平成27年度から、教育委員会事務局事業として実施 平成28年1月：港南台地区センターでの図書取次サービス開始 令和4年1月：日吉図書取次所での図書取次サービス開始 令和5年1月：港北図書館での司書補助業務委託開始 令和7年3月：図書取次所新規開設（1か所）予定
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業開始年度	①H23年度 ②H17年度
--------	---------------

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
		1	地域図書館・図書取次業務委託事業費	164,388	140,333
細事業合計		164,388	140,333	24,055	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 小田川 紀可	係長 久保寺 信行	庄田 祥子
------------------------------------	--------------	--------------	-------

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	企画運営課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	7					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	市立図書館指定管理事業費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	191,009	0	0	39	0	190,970
令和5年度	188,522	0	0	39	0	188,483
増▲減	2,487	0	0	0	0	2,487

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	180,618	181,937	190,717	190,717	191,014
	市債＋一般財源	180,579	181,898	190,678	190,678	190,975
決算	事業費	180,246	185,150			
	市債＋一般財源	180,221	185,143			

事業概要 (アクティビティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内図書館へ指定管理者制度を導入し、管理運営業務について指定管理者に委任する。</li> <li>・ 指定管理期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5か年間）</li> <li>・ 指定管理者の選定を行い、指定管理期間の管理運営業務について評価する。令和6年度は指定管理者選定評価委員会を開催予定。</li> <li>・ 平成28年度より、市立図書館あり方検討事業と市内図書館指定管理事業を統合した。</li> </ul>								
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
開館時間の延長	単位	目標	239	279	281	286.5	283.5	286.5	286.5
	時間	実績	239	279	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
図書館利用の増加 (貸出冊数)	単位	目標	650,000	650,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
	冊	実績	663,293	680,449	/	/	/	/	/
事業目的	市内図書館における指定管理者による図書サービスの提供								
背景・課題	平成18年、19年に実施した横浜市内図書館のあり方懇談会を踏まえて、図書館サービスの向上と効率的な管理運営の一手法として、平成22年度に地域図書館1館（青葉区市内図書館）に指定管理者制度を導入した。								
根拠法令・方針決裁等	図書館法、横浜市内図書館条例及び同規則、横浜市市内図書館指定管理者選定評価委員会要綱								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市内図書館指定管理者選定評価委員会審査報告書</li> <li>・ 横浜市内図書館の管理運営に関する基本協定書</li> <li>・ 市内図書館事業報告書</li> </ul>								
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1期指定管理期間：平成22年4月1日から平成27年3月31日まで（5か年間）</li> <li>・ 第2期指定管理期間：平成27年4月1日から令和2年3月31日まで（5か年間）</li> <li>・ 第3期指定管理期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5か年間）</li> <li>・ 令和6年度：市内図書館指定管理者選定評価委員会の開催</li> </ul>								
事業開始年度	平成18年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	市立図書館指定管理事業	191,009	188,522	2,487	貸金スライドによる増
	細事業合計	191,009	188,522	2,487		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 小田川 紀可	係長 久保寺 信行	辻 祥弘
------------------------------------	--------------	--------------	------

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	サービス課	新規拡充	□ 新規 ■ 拡充	事業評価書番号	8					
歳出予算科目	一般会計	17	款	6	項	3	目	政策番号	6	施策番号	4
事業名称	学校連携・地域連携事業費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,542	0	0	0	0	1,542
令和5年度	1,342	0	0	0	0	1,342
増▲減	200	0	0	0	0	200

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	775	1,275	1,542	1,542	1,542
	市債＋一般財源	728	1,275	1,542	1,542	1,542
決算	事業費	1,278	1,571			
	市債＋一般財源	1,278	1,571			

事業概要 (アクティビティ)	学校、関係機関及び地域の読書活動に係る団体と連携し、地域や家庭における読書活動支援のための事業を実施します。 1 学校連携事業 ①学校司書研修への講師派遣、②学校図書館環境整備相談、③教職員向け貸出、④図書館見学・職場体験の受入 2 地域連携・市民協働事業 ①各種ボランティア（読み聞かせ、書架整理、修理）の育成・活動支援、②ボランティア向け講座の開催、 ③団体貸出・セット貸出の事業実施、④市内で開催される読書イベントの支援、⑤関係機関、団体と連携した企画及び実施、 ⑥西区読書活動推進に係る企画及び実施 3 子どもの読書活動推進事業 ①家庭内での読書活動啓発のためのパンフレット・ブックリストの作成及び配布、②おはなし会等の企画及び実施、 ③展示会・イベント等の企画及び実施						
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
教職員向け貸出冊数	単位	目標	42,000	45,000	47,000	48,000	49,000	49,000	49,000
	冊	実績	37,950	34,754					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
貸出冊数（中央図書館及び地域図書館18館、取次所、電子書籍、広域利用の合計）	単位	目標	11,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
	冊	実績	11,600,457	12,198,930					

事業目的	学校、関係機関、地域と連携し、乳幼児から青少年までの発達段階に応じた読書活動支援により、子どもの読書習慣の定着及び乳幼児から高齢者までのすべての横浜市民の読書活動を推進します。
------	------------------------------------------------------------------------------------------

背景・課題	国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」では「子供を取り巻く情報環境が大きな変化を見せており、これらが子供の読書活動にも大きな影響を与えている可能性がある」という指摘があります。このため、より多くの子どもたちが読書に親しむことができるよう、司書教諭・学校司書・ボランティアが連携して行う読書活動の推進や、学校内の読書環境整備、学校図書館の利活用の促進を引き続き進めていく必要があります。加えて、各家庭、地域における読書活動推進のため、読み聞かせボランティア等の活動を支援する必要があります。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例
------------	----------------------------------------------

根拠・データ等	【横浜市立図書館年報】 ①教職員向け貸出※全館で実施（学校向けセット貸出、母語セット貸出は中央のみで実施） 2年度35,007冊、3年度37,950冊、4年度34,754冊 ②団体貸出 貸出総冊数（登録団体数）※実施館6館（中央、保土ヶ谷、金沢、港北、山内、戸塚） 2年度22,239冊（179）、3年度17,651冊（165）、4年度23,794冊（156） ③グループ貸出 貸出総冊数（グループ数）※全館で実施 2年度27,201冊（534）、3年度38,283冊（579）、4年度48,525冊（624）
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度：ボランティア講習会開始（企画運営課所管）</li> <li>・平成22年度：ボランティア養成講座としてサービス課に移管</li> <li>・平成22年度：教職員向け貸出開始</li> <li>・令和3年度：外国語を母語とする児童生徒向け外国語図書セットの学校貸出開始</li> <li>・令和4年度：中央図書館を活用した不登校児童生徒支援事業（新規）</li> </ul>
事業開始年度	平成16年度

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	学校連携・地域連携事業費		1,542	1,342	200
細事業合計			1,542	1,342	200	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	小澤 美奈子	係長	吉田 薫	佐竹 聡子
------------------------------------	----	--------	----	------	-------

# 令和6年度 事業計画書

事業局課	教育委員会事務局	教育政策推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	17 款 6 項	3 目	政策番号	6	施策番号 4
事業名称	図書館ビジョン推進費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	36,000	0	0	0	0	36,000
令和5年度	45,000	0	0	0	0	45,000
増▲減	▲9,000	0	0	0	0	▲9,000

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	36,000	36,000	36,000
	市債＋一般財源	0	0	36,000	36,000	36,000
決算	事業費	0	0			
	市債＋一般財源	0	0			

事業概要 (アクティビティ)	「横浜市図書館ビジョン」に基づく、図書館再整備構想等の策定による、新たな図書館像（新しい“わくわく”を創り出せる、子どもから大人まで、みんなが主役になれる場）の実現							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
図書館ビジョンの推進	単位	目標	調査・検討開始	ビジョン策定	推進	推進	推進	推進
		実績	推進					
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
18館入館者数	単位	目標	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000
	人	実績	6,396,145					
事業目的	「横浜市図書館ビジョン」を推進し、市民サービスの向上につなげます。							
背景・課題	横浜市図書館ビジョンは、10～20年後を見据え、中長期的な社会の変化を展望し、これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示すものです。ビジョンの5つの基本方針に基づき、具体的な取組を進める必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	社会教育法、図書館法、横浜市立図書館条例及び同規則、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、横浜市中期計画（2022～2025）、第4期教育振興基本計画、横浜市図書館ビジョン							
根拠・データ等	【横浜市立図書館年報】 ・18館入館者数：3年度6,630,539人、4年度6,396,145人 ・登録者数：3年度879,547人、4年度868,558人 ・貸出者数：3年度4,023,174人、4年度3,820,915人 ・貸出冊数：3年度11,600,457冊、4年度12,198,930冊 ・予約受付冊数：3年度3,467,033冊、4年度3,459,249冊							
事業スケジュール	全館の概要調査、複数館について現況調査・周辺の動向調査等の実施、概ね10年の間に再整備が可能な館について再整備構想等策定検討（～3月）							
事業開始年度	令和4年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	新たな図書館像の策定事業	0	45,000	▲45,000	策定完了のため
2	図書館ビジョン推進費	36,000	0	36,000	新規事業のため	
細事業合計		36,000	45,000	▲9,000		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	高柳 友紀	安部 史織	宮崎 知樹